



令和7年度
天草市立稜南中学校
学校だより



令和8年3月8日
第18号
文責 校長 松原 康近

学校評価 真摯に受け止め、次へ

楽しい学校生活	生徒	3.4
	保護者	3.2
	教職員	3.2
分かりやすい授業	生徒	3.4
	保護者	3.2
	教職員	3.2
ICT機器の活用	生徒	3.4
	保護者	3.0
	教職員	3.0
学び合い学習(活動)	生徒	3.5
	保護者	3.0
	教職員	3.0
情報公開	生徒	3.2
	保護者	3.2
	教職員	3.1
相談体制	生徒	3.1
	保護者	3.0
	教職員	3.2
授業とつながった家庭学習	生徒	3.2
	保護者	2.7
	教職員	2.6
感謝や思いやり	生徒	3.4
	保護者	2.9
	教職員	3.2
いじめや差別はない	生徒	3.3
	保護者	2.8
	教職員	3.3
地域との交流・連携	生徒	3.2
	保護者	2.9
	教職員	3.0

今年度の学校評価で、主なものを掲載いたします。4段階評価で、保護者の皆様には、「分からない(評価不可)」という選択肢がなく、評価ではご苦勞をおかけしたところもあったことと思います。そのような中、生徒、保護者、教職員の3者で、特に「楽しい学校生活」「分かりやすい授業」「情報公開」において、肯定的な回答が多かったです。

「ICT機器の活用」「相談体制」では、及第点には届いていますが、更に充実が求められているということだと感じました。

ポイントが3.0を割った回答状況がある項目としては、「授業とつながった家庭学習」「感謝や思いやり」「いじめや差別はない」「地域との交流・連携」などでした。

特に、「授業とつながった家庭学習」につきましては、教職員にも反省すべき点があったようで、今後のさらなる充実を目指ところです。

また、保護者におかれましては、「家庭でのお子さんの姿」や「お子さんがどう言っているか」などが評価の視点になることと思いますので、家庭にもしっかり伝えるよう、工夫を重ねていきたいと思ひます。

私松原としては、「感謝や思いやり」「地域との交流・連携」は、学校教育目標にも掲げておりますので、さらに高まるよう、さらなる浸透と充実を図りたいと思ひます。保護者の皆様にはご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

喫緊の課題は... Part1

熊本県学力・学習状況調査結果から
12月上旬に1・2年生で県学力・学習状況調査を実施しました。県下のすべての小中学校で実施されました。学力調査としては、国語、数学、英語の3教科でした。今年度は、中学校においては「CBT(Computer-based Test)」といって、コンピュータ(タブレット端末)でテストを受ける形式でした。



1年生の国語と英語は県の平均正答率を上回りましたが、他は下回り、天草市の平均正答率に対しては、全学年・全教科下回ってしまいました。

「〇〇の授業の内容はよく分かりますか。」
(単位：%)

		国語	数学	英語
1年	本校	90.4	63.0	68.5
	天草市	86.4	71.0	71.6
	県	84.8	67.6	69.1
2年	本校	82.2	58.9	61.6
	天草市	81.5	65.6	61.1
	県	79.3	64.6	60.7

意識調査での肯定的回答の割合です。授業では分かっている、「定着」させる段階に課題があるということは、『家庭学習の充実』が最重要課題のようです。